

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

行政と一廃業者のさらなる連携へ

(一社)三重県清掃事業連合会 設立記念講演会を開催

(一社)三重県清掃事業連合会(片野宣之会長)は4月26日、同県四日市市のプラトンホテル四日市で、設立記念講演会を開催した。同会は「みえ清掃事業協議会」を前身として、4月1日付で一般社団法人化。講演会には、会員の他、来賓として厚生労働大臣秘書や県担当者などが出席、市町の行政担当者らや(二社)全国清掃事業連合会の所属団体からも多数参加し、設立を祝った。

開会のあいさつに立った片野会長は、関係者への謝辞の後、「一般廃棄物の適正処理、減量化、再資源化の推進を目的として、2008年に任意団体とし

て立ち上げ、取り組みを進めてきたが、行政と業界のさらなる認識共有を図るためにも一般社団法人として再スタートを切ることとなった。今後は一層、コンプライアンス意識の向上などに寄与していきたい」と述べた。

記念講演には、まず環境省中部地方事務所・廃棄物リサイクル対策課の小岩真之課長が登壇。「小型家電リサイクル法及び不用品回収対策について」をテーマに法概要を解説した他、「無許可での廃棄物収集・運搬は重大な犯罪行為」とし、違法業者への対策措置を紹介した。



記念講演会のようす

(一社)全国清掃事業連合会の山田久専務理事は、「公共サービスとしての一般廃棄物処理業の在り方について」と題し、固形一般廃棄物に関する動向について講演。BCPや不用品回収のなご幅広い話題に触れ、「社会・環境に必要なサーフェイネット。安易な規制緩和は危険だ」などと話した。

(一社)全国清掃事業連合会の山田久専務理事は、「公共サービスとしての一般廃棄物処理業の在り方について」と題し、固形一般廃棄物に関する動向について講演。BCPや不用品回収のなご幅広い話題に触れ、「社会・環境に必要なサーフェイネット。安易な規制緩和は危険だ」などと話した。